

令和元年度各部局の重点課題の取組結果

部(局)	政策推進部
部(局)長	市川 信行
総合政策監	山口 智弘(行財政健全化担当)
危機管理監	渡辺 敏弘(危機管理担当)

【基本姿勢】

政策推進部では、市の政策をまとめ、実行するための施策についての企画・調整をはじめ、市民からの情報を受け止め、市民への情報発信を行うなど、市民との情報交流、市を動かすための職員に関する人事管理等を行っています。

全国的に少子高齢化による人口減少や地方経済の衰退が進む中で今後もにぎわいや活力ある市としてあり続けるために、困難を極める財政面の健全化や多様化する市民ニーズに応えられる施策に取組み、市政の情報を多様な広報媒体で積極的に発信することで、市民と協働した行政運営に努めてまいります。

危機管理につきましては、災害からの被害を最小限に留めるため、自助・共助の意識を育むとともに、地域自主防災組織への活動支援を行い、地域防災力を高めます。

また、地域防災の要である消防団の災害対応技術の向上を図るとともに、柏原羽曳野藤井寺消防組合と連携し、消防・防災体制の強化を図ります。

【達成度について】

- A: 達成(設定した目標を達成することができた。100%)
- B: 概ね達成(概ね目標どおり達成することができた。70%以上100%未満)
- C: 一部達成(目標の一部を達成できた。50%以上70%未満)
- D: 未達成(目標達成に向け取り組んだものの、目標達成にはいたらなかった。50%未満)
- E: 未実施(事業の取りやめなどにより評価不能又は困難。0%)

【重点課題】

	重点課題	令和元年度 達成状況
1	知名度アップと交流人口や定住人口の増加に関する取組の推進	B
2	第5次柏原市総合計画の策定	B
3	「広報かしわら」・「柏原市ウェブサイト」をはじめとする各種SNSなど多様なメディアを活用した、市政情報及びまちの魅力資源の発信・強化	B
4	働き方改革に関する取組の推進	B
5	会計年度任用職員制度の円滑な導入	B
6	地域防災力の向上	B
7	消防団の災害対応技術力の強化	B

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 1	知名度アップと交流人口や定住人口の増加に関する取組の推進
--------	------------------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	減少傾向にある人口に歯止めをかけるとともに、地域資源の再発見や創出を行い、魅力ある情報を広く市外の方々にも発信することにより、観光などを入口とした流動人口や定住者の増加に繋げていきます。
---------------------	---

活動目標
民間企業への積極的なアプローチを行い、地域資源の活用による地域活性化を図ります。
大学生との協働により、地域資源の新たな活用方法や効果的な魅力発信方法などを研究します。

具体的な取組実績
柏原市の地場産業や自然環境と親和性の高い民間企業へ積極的にアプローチを行い、営業拠点の設立や営業活動の意向、公民連携による事業展開等について意見を交換しました。
大学の協力を得て、ゼミや授業と連携し、地域資源の活用方法や課題解決策について、担当部署を交えながら、研究を重ねました。そして、その成果として、参加した学生から活用方法等について様々な提案をいただきました。

達成目標
地域資源を活かして、交流人口や定住人口の増加に繋がります。
若者の視点に立てることができる本市の知名度アップを行います。

達成状況	達成度
民間企業によるイベントの企画や営業拠点の設立に向けた現地視察等、アプローチを通じて本市に魅力を感じられた民間企業の動きが出てきており、交流人口の増加が期待できます。	C 一部達成
SNSを活用した地場産業活性化の取組や地域課題の解決策の提案等、大学生の視点を活かした事業提案を受けることができました。 中には、令和2年度に事業実施が決定された取組もあり、今後、知名度アップが期待されます。	A 達成

総合評価・総括
<p>知名度アップや交流人口・定住人口の増加に向け、ステークホルダー（関係者）の新規獲得や関係性を深める活動をすることができました。</p> <p>今後も、同様の取組を継続させながら、協働事業の実施等、産学官連携の相乗効果が期待される取組を実施してまいります。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 2	第5次柏原市総合計画の策定
--------	---------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	第5次柏原市総合計画を策定するにあたり、柏原市の未来を市民の皆様と一緒に考えて作り上げ、時代に即した計画となるよう、策定作業に取り組めます。
---------------------	--

活動目標
市民参加型ワークショップを開催し、総合計画策定に当たって市民から直接意見をお聴きします。

具体的な取組実績
令和元年6月に“柏原市の未来”を考える市民ワークショップを開催しました。 また、令和元年11月に子育て世代向けとして、「ほっとステーション」と「たまたまはこ」でミニワークショップを開催しました。

達成目標
市民主体のまちづくりを実行します。

達成状況	達成度
令和元年6月の市民ワークショップは公募により33名、令和元年11月の市民ワークショップは2箇所合計16名に参加いただきました。 これらの意見は報告書にまとめ、総合計画審議会における議論の資料として活用しました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
市民から意見を直接聴く機会として市民ワークショップを開催し、数多くの意見をいただいたことで、総合計画策定における市民の意見を反映することができました。 次年度においては、総合計画の基本構想、基本計画策定において、これらの意見をより活かせるように各施策目標や施策の内容を検討する際にも活用してまいります。 また、総合計画案については、市民向けのパブリックコメントを実施し、市民意見を取り入れてまいります。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 3	「広報かしわら」・「柏原市ウェブサイト」をはじめとする各種SNSなど多様なメディアを活用した、市政情報及びまちの魅力資源の発信・強化
--------	--

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民一人ひとりに柏原市に誇りと愛着を持ってもらい、その方々から柏原市の魅力を市内外に推奨していただくとともに、魅力あるまちづくりや地域活動に積極的に参画する気運の醸成に努めます。
---------------------	---

活動目標
柏原市の魅力発信及び定住促進をねらい、PR用冊子を作成します。
公式ノベルティグッズとして注染手ぬぐいを作成し、柏原市の伝統産業の振興や魅力発信に寄与します。

具体的な取組実績
柏原市の持つ歴史や自然等の魅力を網羅したPR冊子と人口増加に向け、主に子育て世代をターゲットにした移住促進用冊子を新たに作製し、特に移住促進用冊子については、大阪府宅建協会の協力を得ながら市内外の不動産事業所で活用いただくよう配付を行いました。
柏原市の伝統産業の更なる振興と魅力発信のために市オリジナル手ぬぐいを作製し、染色の魅力を様々な機会に発信しました。 また、その作製にあたり、柏原染色加工組合の協力を得るなど、市内染色事業者との連携関係を構築することができました。

達成目標
特に市外の方々に柏原市の魅力を知ってもらい、人口増加を目指すとともに、新たな魅力の発掘と効果的な発信に努めます。

達成状況	達成度
柏原市の染色（浪華本染め）が国の伝統工芸品に指定されたことも後押しとなり、市の魅力を発信する機会も増え、市内外の方に多くの情報をお届けすることができました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>今年度は、市の魅力を直に伝えるための新たな冊子やグッズといったツール作製を重点的に実施することができ、これまでになかったプロモーションに着手するに至りました。</p> <p>また、徹底してSNSを活用した魅力発信を行うことにより、確実にフォロワー数の獲得にも至っており、そのコメントからも、市への愛着や誇りの醸成に一定の効果が得られているものと考えております。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 4	働き方改革に関する取組の推進
--------	----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	質の高い行政サービスの提供に向けて、職員が心身の健康を維持し、持てる力を十分に発揮できるようにワーク・ライフ・バランスの向上に取り組めます。
---------------------	--

活動目標
職員個々の勤務時間を適切に管理していくとともに、時差出勤や完全退庁時間の徹底により、長時間労働の是正に努めます。
庁内報等を通じて、有給休暇の取得を促します。

具体的な取組実績
完全退庁時間や時差出勤制度の活用等を周知するとともに、各所属長に対して適切な超過勤務命令の徹底を指示しました。
庁内報や説明会にて働き方改革の趣旨に沿った有給休暇の計画的な取得を周知し、取得状況調査の実施・公表を行いました。

達成目標
災害への対応や重要・緊急性の高い業務等の例外を除き、職員一人当たりの超過勤務を抑え、全体の超過勤務の縮減を図ります。
有給休暇取得率の向上を目指します。

達成状況	達成度
職場における業務見直し等により、例外を除いた超過勤務時間は前年度より減少させることができました。	B 概ね達成
周知等により、取得率が向上した職場があるものの、全体での取得率はほぼ横ばい状態となりました。	C 一部達成

総合評価・総括
<p>市民の皆様満足いただける行政サービスの提供には、職員一人一人が持てる能力を十分に発揮できる環境の整備が肝要であると考え、長時間労働の削減に繋がる取組を進めてまいりました。</p> <p>今後も引き続き、取組内容の充実と職員への浸透に努めてまいります。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 5	会計年度任用職員制度の円滑な導入
--------	------------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	令和2年度からの会計年度任用職員制度の開始にあたり、臨時・非常勤職員の適正化と制度整備を適切に行い、円滑に導入できるよう取組みます。
---------------------	--

活動目標
<p>現行の臨時・非常勤職員の多くが会計年度任用職員に移行することに伴い、給与・休暇等の勤務条件や任用方法等について適切な整理と整備を行います。</p>

具体的な取組実績
<p>職員組合との協議内容を踏まえながら、国から示された制度導入の趣旨や手順に沿って勤務条件や任用方法の整理・整備を行うとともに、適宜に情報提供や説明会の開催を通して制度周知に努め、必要な職の募集等を実施しました。</p>

達成目標
<p>会計年度任用職員制度を円滑に導入します。</p>

達成状況	達成度
<p>現行の臨時・非常勤職員からの制度移行に伴う各種整理・整備を完了し、年度当初に必要な任用予定人数をほぼ確保することができました。</p>	B
	概ね達成

総合評価・総括
<p>職員組合や各職場との合意形成を図りながら制度設計を進めた結果、大きな問題を招くことなく制度導入に向けて準備することができました。 今後も国や近隣団体の動向に注視し、制度の充実に向けてまいります。</p>

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 6	地域防災力の向上
--------	----------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	大きな自然災害が発生することを想定し、被害を最小限に留めるよう、自助と共助の重要性を再認識して、自主防災組織への支援に努めます。
---------------------	--

活動目標
地域自主防災組織の活動の活性化を促進します。
洪水害、土砂災害等、各地域の災害実情に応じた訓練を実施します。

具体的な取組実績
柏原市消防団、柏原羽曳野藤井寺消防組合協力のもと、地域の自主防災訓練を14回実施しました。
自主防災訓練にてハザードマップの解説を行い、各地域の災害リスクへの理解を促しました。 また、洪水害を想定した図上訓練を実施しました。

達成目標
平時から地域住民が連携し助け合うことにより、災害時には被害を最小限に抑えられるように進めます。
避難等に関する知識を持ってもらうことで、災害時における避難行動が迅速かつ的確になります。

達成状況	達成度
自主防災訓練では、会場となる地域の小中学校等が指定避難所等となっているため、集団での避難訓練が行われるとともに、地域住民の連携強化が図られました。	B 概ね達成
令和元年6月から運用開始された「警戒レベル」を用いた避難情報の発令について、各地域の自主防災訓練で説明及び啓発冊子を配布し、市民への周知を行いました。	B 概ね達成

総合評価・総括
一部の自主防災組織では、訓練メニューを組織で全て取組むことや、訓練の企画内容にも地域特性における活動が実施されました。 市においても、ハザードマップや避難情報の説明を行い、「自助・共助」の必要性や防災知識の周知等の活動支援を行いました。

部(局)名	政策推進部
-------	-------

重点課題 7	消防団の災害対応技術力の強化
--------	----------------

全体の達成度
B
概ね達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	災害発生時において迅速な対応が行えるよう、災害対応技術の強化を図ります。
---------------------	--------------------------------------

活動目標
技術の向上を図るため、講習会や災害対応訓練等を実施します。
地域自主防災訓練において、地域住民に災害対応技術の指導等を行います。

具体的な取組実績
柏原羽曳野藤井寺消防組合と連携し、土砂埋没要救助者の捜索及び救出訓練を実施しました。
消火器取扱い、簡易担架作成、保温止血及び救命講習(AED)について、消防団員が訓練参加住民へ指導しました。

達成目標
更なる技術の向上により、災害時における市民の安全確保を図ります。
消防団と地域の連携が図られ、地域防災力が強まります。

達成状況	達成度
近年、災害が激甚化する中、本市においても起こりえる土砂災害を想定した訓練を実施し、災害対応能力の向上を図りました。	B
消防団が自主防災訓練等に参加することで、地域とのつながりが深まり、大規模災害時に備えた地域防災力の強化が図られました。	B
	概ね達成

総合評価・総括
今年度は、土砂災害に対応した消防団の技術力強化を図る訓練を実施しました。引き続き、水防訓練、エンジンカッター等資機材取扱訓練を実施し、多様な災害に備えた消防防災体制の強化充実に取り組みます。